からきだ菖蒲館

しょうぶかん

ハロー From Shobukan 第80号

発行：2023年 2月26日 （隔月発行）　No.080
唐木田コミュニティセンター運営協議会　編集：広報部会
公式ホームページ：https://karakida.org/
メールアドレス：info@karakida.org

2021.1.31 撮影

尼寺の痕跡　謎の多い「東醫庵」 尼寺の痕跡 ③

多摩の歴史さんぽ(37)　橋場万里子

前回紹介した寿徳寺の末寺のなかで、最も古い創建年代の伝承を持つのは「東醫庵(といあん)」です。今回はこの東醫庵についてご紹介しましょう。(「東醫庵」の表記は「東伊庵」「東井庵」「遠井庵」などさまざまですが、寿徳寺に伝えられている表記で統一します。)

東醫庵は明治6年(1873)に廃寺になり、現存していません。現在の桜ヶ丘4丁目付近にあったと伝えられており、国文学研究資料館所蔵の寺方村絵図には山神社の向かい側に東醫庵がはっきりと描かれています。

明治期の廃寺手続きの史料から、東醫庵は、寿徳寺の再興からまもない永禄3年(1560)に融堂芳税和尚が開基となり、創始されたことがわかります。なお、この史料には、東醫庵が享保17年(1732)から無住(住職が居ない状態)であったこと、明治6年時点ですでに堂は無く、境内地は8畝歩(約800㎡・約240坪)、虚空蔵菩薩が1体あり、僧侶の墓が1畝歩(約100㎡・約30坪)あった状態だったことなどが書かれています。また東醫庵は、田を2反4畝13歩(2,423㎡、約732坪)、畑を1町3反8畝2歩(13,692㎡、4141坪)所持していました。なお、東醫庵は尼寺であり、時代は不明ながら、尼僧が土中で鈴を鳴らしながら入定したという伝承も残されています。

東醫庵に関する古文書もたくさん残されています。まず、享保13年に、寺方村の名主の平右衛門が「東醫庵一揆百姓ではない」という主張を領主に述べた古文書があります。「東醫庵一揆」の詳細は不明ですが、東醫庵を中心とした百姓集団が、年貢に関して領主と交渉していた可能性があります。また、東醫庵の印が押された年貢・田畑勘定帳が寛保2～明和5年(1742～1768)までの26年間のうち13冊分が残されています。さらに、嘉永2年(1849)には長沼村(稲城市)の光明院の留守居として、東醫庵の法類(同宗同派)にあたる越中海岸寺の弟子・大道僧尼を派遣するなど、無住になったと伝えられる享保17年以降も、「東醫庵」は何らかの影響力を持っていたことが推測できます。

山神社の石祠

このように東醫庵は伝承や古文書があるにもかかわらず、その読み解きが難しく、実態がつかめない、謎の多い寺院といえるのです。

なお、現在山神社境内にある祠も、もとは東醫庵の境内地にあったもので、桜ヶ丘団地の開発の際に山神社境内に移転したと伝えられています。祠は天保5年(1834)に建立され、台石には「寺」(寺方)、「新」(落川新田)、「原」(原関戸)などの近隣の人々の名が彫られています。

参考文献：パルテノン多摩 2012『消えた寺が語るもの～多摩市の廃寺と寿徳寺の周辺～』

筆者紹介：橋場万里子(はしば まりこ)
パルテノン多摩(公益財団法人多摩市文化振興財団)学芸員。東京都立大学、東京医療学院大学非常勤講師。

府中カントリークラブのすがた

多摩ニュータウン開発と府中カントリークラブ(1)　梶ケ野　彰

一株平等のメンバーシップ(会員制)

日本のゴルフ場の多くはプレー権を意味する預託金形式の会員制をとり、預託金は建設・運営にあてられます。

これとは別に株式会員制のコースが100ほど、会員は予約なしでプレーでき、総会では持株比で議決権を使え、資産と権利も明確です。そのうち保有株同数で議決権が均等の一株平等のコースはごく少数です。

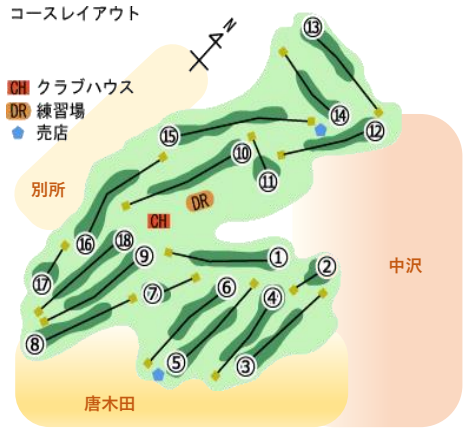
府中カントリークラブ(以下府中CC)はここに該当します。会員は平等にクラブ施設を利用しゴルフの普及と親睦に務めます（フェローシップ）。

総会で選ばれた理事長は、理事会・委員会と共に総意に基いて運営します。

「心は社団」の生い立ち

1959年、銀座にあった「東京スポーツマンクラブ」(タウンクラブ)は、本格的なチャンピオンコースを多摩丘陵に建設し、フェローシップに満ちた理想の姿で運営するとして、府中ＣＣの募集を開始します。それに際してあたかも社団法人の拠出金の様に、社長の持株を約1,200の単位株に分割して一株平等の構成とします。賛同した入会者には文壇の獅子文六や扇谷正造、政界の白洲次郎の名も連なっていました。

府中カントリー 昭和58年(1983) UR都市機構寄贈・パルテノン多摩所蔵



多摩丘陵を活かした造形

こうして府中ＣＣは18ホール・パー72の丘陵コースとして、多摩ニュータウン誕生の12年前に開業しました。

クヌギの残る丘と谷を縫って配されたホール、時折の狸の親子との出会い、大きく開いた天空の景観、特に富士と丹沢、大岳、関東山地の遠望は、昔日の多摩丘陵もかくやと思わせます。

芝種やグリーン技術の進化に応じて二度の大改造がなされました。コースレート72.9、微妙な起伏の高速グリーン、400ヤードのミドルホール7つとタフでありながら、アベレージゴルファーも花道からの攻略を楽しめます。

上野公園の800本を凌ぐ2,000本の七種の桜に松が風情を添えます。12番ホール下に貫入する京王線への遠望は、多摩ニュータウンとの共生を象徴します。

※府中ＣＣについての個人的表現があり、本稿は府中ＣＣに帰属するものではありません。

筆者紹介：梶ケ野 彰(かじがの あきら)
府中カントリークラブ会員。1974年信越化学工業。塩ビの販売、環境広報、加工経営。2022年退社。府中市在住。

WINTER FAIR
～オンライン学科　効率アップで免許取得！～
ご好評につき延長！
2023年3月31日（金）まで
未来へNAVIするライセンス
東急自動車学校
多摩市唐木田3-6
tel.042-372-0109

暮らしに寄り添うかかりつけ医
あいクリニック中沢
外来　内科・もの忘れ外来
訪問診療　24時間365日対応
初診Web予約可能
042-311-2820（代表）多摩市中沢2-5-3　ゆいま～る中沢A棟1階

土日祝も開園
完全予約制
CoCoプレイス保育室
6ヶ月～未就学児童
042-400-6975
〒206-0033 東京都多摩市落合1-46-1 ココリア多摩センター 7階

株式会社 麻生徽章
TEL.042(374)0330(代)
FAX.042(374)0477
〒206-0033 東京都多摩市落合6丁目9番地1
E-mail:prize@asou-kisyo.jp
営業品目
バッジ・メダル　カップ・トロフィー　キーホルダー・タイ止め・ストラップ
校旗・社旗・会旗・優勝旗・懸垂幕・横断幕・のぼり・腕章・ワッペン
看板（室内サイン・屋外アートサイン／デザイン設計 施工）
東京都知事許可 一般建設業（般－23）第126872号
●その他 各種記念品、特注品も承ります。☆ご用命を心よりお待ち申し上げます。
http://prize.asou-kisyo.jp/